令　和　7　年　度

一　般　選　抜　学　生　募　集　要　項

福　岡　教　育　大　学

https://www.fukuoka-edu.ac.jp

福岡教育大学を受験される皆様へ

福岡教育大学の令和７年度入学者選抜は，この『一般選抜学生募集要項』により実施しますのでよく読んでください。なお，不明な点があれば大学に問い合わせてください。

下記の点には特に注意してください。

◎　本学はすべての課程とも分離・分割方式（前期日程及び後期日程）で試験を実施しますが，前期日程のみで実施する募集単位もありますので５ページ「１．募集人員」を確認してください。

◎　志願者は，「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。

従って，本学の「前期日程」に出願する者は，本学又は他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に出願することができます。

また，本学の「後期日程」に出願する者は，本学又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。

次のような組み合わせの出願はできませんので注意してください。

「国立前期―国立前期」，「国立前期―公立前期」
「国立後期―国立後期」，「国立後期―公立後期」

◎　「前期日程」に合格し，入学手続前期締切期日〔令和７年３月１５日（土）〕までに入学手続を行った者は，「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。

◎　１つの国立公大学・学部に入学手続きを行った者は，これを取り消して他の国公立大学・学部に入学手続きを行うことはできません。

◎　国公立大学の分離・分割方式による追加合格者決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校コード，及び大学入学共通テストの受験番号に限って，合否及び入学手続等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

◎　国公立大学（本学を含む。）学校推薦型選抜合格者は，当該学校推薦型選抜を実施する大学･学部の定める学校推薦型選抜の入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて，本学の「前期日程」及び「後期日程」を受験しても入学許可を得ることはできません。

◎　国公立大学総合型選抜合格者は，当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める総合型選抜の入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて，本学の「前期日程」及び「後期日程」を受験しても入学許可は得ることができません。

※　大学入学共通テスト受験票は，前期日程当日，後期日程当日，及び入学手続の際に必要となりますので，絶対に紛失しないよう注意してください。

目　　次

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

Ⅰ．募集人員・試験日程等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

Ⅱ．出願資格　・・・７

Ⅲ．入学者選抜方法等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

Ⅳ．評価の観点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

Ⅴ．試験時間割　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

Ⅵ．出願手続　・・２９

Ⅶ．受験に際しての注意事項等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

Ⅷ．合格者発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６

Ⅸ．追加合格・欠員補充第２次募集　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７

Ⅹ．入学手続　・・３８

Ⅺ．その他共通事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

（参考）過去２年間の一般選抜入学試験状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２

大学所在地【交通機関】【周辺道路地図】

福岡教育大学キャンパス・マップ　　福岡教育大学各種お問い合わせ先

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は，教員養成の広域拠点大学として，これからの学校教育において，さまざまな課題の解決等に率先して取り組むことのできる教員，具体的には，

・幼児・児童・生徒の発達，自律を支援できる教員
・義務教育段階での学習の流れを見通すと同時に，幼児・児童・生徒との相互のコミュニケーションを活性化させ，深い学びへ導くことができる教員
・幼児・児童・生徒の発達を理解するとともに，個々の子どもを客観的に理解できる教員

の養成を使命としています。そのために学士課程においては，学校教育現場において求められる，１）幅広い視野と豊かな教養，２）高い専門性，３）確かな実践力を培い，各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。これらを実現するために本学では，各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に習得するカリキュラムを編成しています。

＜福岡教育大学では，次のような人の受験を期待します。＞

◎教員を目指す強い意志と情熱をもち，子どもの発達や学習の支援，子どもの様々な行動のマネジメントなどに対する関心があり，主体的・積極的に，さらには多様な人々と協働して，教員となるために必要な学修に取り組むことができる人。

◎高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同様。）の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに，それらを活用して，論理的に思考し，判断し，さらに自分の考え等を他の者に対して説明するなどの表現力があると同時に，課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。
さらに，中等教育段階の教員（特別支援学校を含む。）を目指す場合は，教員となって担当しようとする教科，科目に関する学力を十分に身に付けている人。

◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え，組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。

◎初等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程初等教育プログラムでは、すべての教科等を教育することができる基礎的な知識が備わっているとともに、教科等横断的、異分野融合的な知を習得できる柔軟な思考力が備わっている人。さらには小学校高学年での教科担任制に対応できる基礎的な知識が備わっている人。

◎中等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程中等教育プログラムでは、特定の教科を教育することができる基礎的な知識が備わっている人。さらには、教科等横断的、異分野融合的な知を修得できる柔軟な思考力が備わっている人。

＜福岡教育大学の入学者選抜では，次のような力を評価します。＞

ディプロマ・ポリシーに掲げた内容の修得には，教職への意欲があることを前提として、高等学校段階までに身に付けるべき基礎的な知識及び技能を身に付けており，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力等，および主体的に学修に取り組む態度が身についていることが求められますので，本学では，すべての入試区分において，これらの要素が身についているか否かを評価します。

以下では，募集単位ごとに，入学者選抜において課す科目等およびそれぞれで主に評価する点を示します（表中の※がついた科目については，「高度な記述式問題」を含みます）。また，「科目等」の欄に「調査書」がある場合には，調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上であれば，一定の点数を加点することを示します。

なお，個別学力試験等で課す「小論文」では，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します。また「面接」では，教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します（高等学校長からの調査書を活用する場合があります。）。

（別紙）入学者選抜において課す科目等およびそれぞれで主に評価する点

１．大学入学共通テスト

課程・プログラム・専攻等	試験	科目等	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
全課程共通	大学入学共通テスト		○	○	

２．個別学力検査等

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等（※:「高度な記述式問題」含む）	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性	教職への意欲	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力	備考
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		推薦Ⅰ	面接	○	○	○	○	○	前期については，調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。
			前期日程	小論文　※	○	○	○	○	○	
				調査書	○	○	○		○	
	小学校教育専攻プログラム		推薦Ⅰ	小論文　※	○	○	○	○	○	前期および後期については，調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
				面接			○	○	○	
			前期日程	小論文　※	○	○	○	○	○	
				調査書	○	○	○			
			後期日程	小論文　※	○	○	○	○	○	
				調査書	○	○	○			
	人文・社会教育プログラム		推薦Ⅱ	面接				○	○	調査書，志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し，最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		（国語系科目）	前期日程	国語　※	○	○	○		○	
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		（社会科系科目）	前期日程	小論文　※	○	○	○		○	
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		（英語系科目）	前期日程	英語　※	○	○	○		○	
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
			後期日程	小論文　※	○	○	○		○	
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
	理数教育プログラム		前期日程	数学または理科　※	○	○				後期の口頭試問は，数学または理科に関するもの。
				面接			○	○	○	
			後期日程	小論文　※	○	○				
				面接（口頭試問を含む。）	○	○	○	○	○	
	芸術・実技教育プログラム	音楽系科目	推薦Ⅱ	実技検査	○	○	○		○	調査書については，欄外「注１」のとおり。
				面接	○		○	○	○	
				音楽理論　※	○	○				
				調査書　注１	○		○			
			前期日程	実技検査	○	○	○		○	
				面接	○		○	○	○	
				音楽理論　※	○	○				
				調査書　注１	○		○			
		美術系科目	推薦Ⅱ	実技検査	○	○				調査書については，欄外「注１」のとおり。
				面接	○		○	○	○	
				調査書　注１	○		○			
			前期日程	小論文　※	○	○				
				実技検査	○	○				
				面接	○		○	○	○	
				調査書　注１	○		○			

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等 （※:「高度な記述式問題」含む）	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性	教職への意欲	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力	備考
初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	体育系科目	推薦Ⅱ	実技検査	○	○				調査書については，欄外「注１」のとおり。
				面接	○		○	○	○	
				調査書　注１	○		○			
			前期日程	実技検査	○	○				
				面接	○		○	○	○	
				保健体育に関する理論 ※	○	○				
				調査書　注１	○		○			
		家庭系科目	推薦Ⅱ	面接	○		○	○	○	調査書については，欄外「注１」のとおり。
				口頭試問	○	○	○		○	
				調査書　注１	○		○			
			前期日程	小論文　※	○	○	○			
				面接	○		○	○	○	
				調査書　注１	○		○			
		技術ものづくり系科目	推薦Ⅱ	面接	○		○	○	○	調査書については，欄外「注１」のとおり。 総合面接は，小論文と口頭試問を含む。
				総合面接 ※	○	○	○	○	○	
				調査書　注１	○		○			
			前期日程	面接	○		○	○	○	
				総合面接 ※	○	○	○	○	○	
				調査書　注１	○		○			
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	前期日程	国語　※	○	○	○		○	調査書，志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し，最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		社会科専攻	前期日程	小論文　※	○	○	○		○	調査書，志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し，最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		数学専攻	前期日程	数学 ※	○	○				
				面接			○	○	○	
			後期日程	数学 ※	○	○				
				面接			○	○	○	
		理科専攻	前期日程	理科 ※	○	○				
				面接			○	○	○	
			後期日程	小論文　※	○	○				
				面接（口頭試問を含む。）	○	○	○	○	○	
		英語専攻	前期日程	英語　※	○	○	○		○	調査書，志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し，最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
		音楽専攻	推薦Ⅰ	小論文	○	○		○		前期日程については，調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
				実技検査	○	○	○		○	
				音楽理論　※	○	○				
			前期日程	小論文	○	○		○		
				実技検査	○	○	○		○	
				音楽理論　※	○	○				
				調査書	○		○			

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等 （※:「高度な記述式問題」含む）	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性	教職への意欲	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力	備考
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	美術専攻	推薦Ⅰ	実技検査	○	○				調査書は，芸術活動，ボランティア活動，部活動，地域貢献等の課外活動の多様な実績を評価し最大5点加点する。
				面接			○	○	○	
				美術理論　※	○	○				
				調査書	○		○	○		
			前期日程	小論文　※	○	○				
				実技検査	○	○				
				面接			○	○	○	
				調査書	○		○			
		保健体育専攻	推薦Ⅰ	小論文	○	○				調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
				実技検査	○					
				面接(口頭試問を含む。)	○	○	○	○	○	
				調査書	○		○			
			前期日程	実技検査	○					
				面接	○	○	○	○	○	
				保健体育に関する理論 ※	○	○				
				調査書	○		○			
		家庭専攻	推薦Ⅱ	面接（口頭試問を含む。）	○	○	○	○	○	
			前期日程	小論文　※	○	○	○			
		技術専攻	推薦Ⅰ	総合面接　※	○	○	○	○	○	総合面接は，小論文，口頭試問を含む。面接は資料作成を含む。
			前期日程	面接　※	○	○	○	○	○	
		書道専攻	推薦Ⅰ	小論文　※	○	○				調査書は，国語の学習成績の状況が4.0以上の者について10点加点を行う。
				実技検査	○	○				
				面接（口頭試問を含む。）	○	○	○	○	○	
				調査書	○	○	○			
			前期日程	小論文　※	○	○				
				実技検査	○	○				
				面接	○	○	○	○	○	
				調査書	○	○	○			
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		推薦Ⅱ	面接（口頭試問を含む。）		○	○	○	○	前期の面接は，ABCの3段階で評価する。 後期については，調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
			前期日程	小論文　※		○				
				面接			○	○	○	
			後期日程	小論文　※		○	○	○	○	
				調査書			○		○	
	特別支援教育中等教育プログラム		前期日程	小論文　※		○				前期の面接は，ABCの3段階で評価する。後期については，調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
				面接			○	○	○	
			後期日程	小論文　※		○	○	○	○	
				調査書			○		○	

注１：調査書について，配点は10点とし，以下①②の合計とする。
①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。
②芸術に関する活動（作品展、コンクール受賞歴など），体育・スポーツ活動、家庭科に関する活動、技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、０点～５点までの範囲内で点数化する。

Ⅰ．募集人員・試験日程等

１．募集人員

<table>
<tr><th colspan="3">募集人員
課程及びプログラム・専攻等</th><th colspan="2">募　集　人　員</th></tr>
<tr><th colspan="3"></th><th>一般選抜
（前期日程）</th><th>一般選抜
（後期日程）</th></tr>
<tr><td rowspan="12">初等教育
教員養成課程</td><td colspan="2">幼児教育プログラム</td><td colspan="2">１２名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">小学校教育専攻プログラム</td><td colspan="2">４６名</td><td>１５名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">人文・社会教育
プログラム
【注１】【注２】</td><td>（国語系科目）</td><td rowspan="3">７５名</td><td>２５名程度</td><td rowspan="3">３０名</td></tr>
<tr><td>（社会科系科目）</td><td>２５名程度</td></tr>
<tr><td>（英語系科目）</td><td>２５名程度</td></tr>
<tr><td colspan="2">理数教育プログラム【注１】</td><td colspan="2">５０名</td><td>１５名</td></tr>
<tr><td rowspan="5">芸術・実技教育
プログラム
【注１】【注２】</td><td>（音楽系科目）</td><td rowspan="5">６５名</td><td>１３名程度</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>（美術系科目）</td><td>１５名程度</td></tr>
<tr><td>（体育系科目）</td><td>２０名程度</td></tr>
<tr><td>（家庭系科目）</td><td>１２名程度</td></tr>
<tr><td>（技術ものづくり系科目）</td><td>５名程度</td></tr>
<tr><td rowspan="12">中等教育
教員養成課程</td><td rowspan="12">中等教育
プログラム</td><td>国語専攻</td><td colspan="2">１２名</td><td></td></tr>
<tr><td>社会科専攻</td><td colspan="2">１２名</td><td></td></tr>
<tr><td>数学専攻</td><td colspan="2">２０名</td><td>８名</td></tr>
<tr><td>理科専攻</td><td colspan="2">２７名</td><td>８名</td></tr>
<tr><td>英語専攻</td><td colspan="2">１０名</td><td></td></tr>
<tr><td>音楽専攻</td><td colspan="2">８名</td><td></td></tr>
<tr><td>美術専攻</td><td colspan="2">５名</td><td></td></tr>
<tr><td>保健体育専攻</td><td colspan="2">１２名</td><td></td></tr>
<tr><td>家庭専攻</td><td colspan="2">７名</td><td></td></tr>
<tr><td>技術専攻</td><td colspan="2">８名</td><td></td></tr>
<tr><td>書道専攻</td><td colspan="2">７名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">特別支援教育
教員養成課程</td><td colspan="2">特別支援教育初等教育プログラム</td><td colspan="2">２５名</td><td>１０名</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育中等教育プログラム</td><td colspan="2">１４名</td><td>６名</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="2">４１５名</td><td>９２名</td></tr>
</table>

（次ページへ続く）

注１

初等教育教員養成課程の次のプログラムでは，１年次から主専攻（小学校教育）について学修し，副専攻については，入学後（２年進級時）に下表に示す領域のうちから選択して学修します。なお，副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので，希望通りに選択できない場合があります。

対象の課程及びプログラム名	副専攻の領域
初等教育教員養成課程　人文・社会教育プログラム	国語領域，社会領域，英語領域
初等教育教員養成課程　理数教育プログラム	数学領域，理科領域
初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム	音楽領域，美術領域，保健体育領域，家庭領域，技術領域

注２

初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラム（前期日程のみ）及び芸術・実技教育プログラムでは，個別学力検査等において選択する受験科目パターンごとに募集人員の目安を示しています。受験科目パターンごとの試験内容は，９～１０ページをご覧ください。

２．試験日程等

	一般選抜（前期日程）	一般選抜（後期日程）
出願期間	令和７年１月２７日（月）～　２月　５日（水）**（１７時必着）**	
試験日	令和７年２月２５日（火）・２６日（水）	令和７年３月１２日（水）・１３日（木）
合格者発表	令和７年３月　６日（木）	令和７年３月２１日（金）
入学手続期限	令和７年３月１５日（土）**必着**	令和７年３月２７日（木）**必着**

３．試験場

福岡教育大学

※集合場所については本学ホームページにて試験の１週間前までを目処にお知らせします。

なお，試験実施上の理由により，一部を本学の近接地に変更することがあります。この場合は，本学ホームページにてお知らせします。

Ⅱ．出願資格

次の各号のいずれかに該当し，かつ本学が指定した令和７年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験した者（指定する科目パターンは，９～１０ページの【別表２】に記載しています。科目パターンごとの詳細な科目名等は，８ページの【別表１】を参照してください。）

（１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和７年３月修了見込みの者
（３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和７年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

※本学に入学を志願する者で入学資格の認定を希望する者は，本学ホームページの「入学者選抜に係る入学資格審査実施要領」に従い，手続を行ってください。
入学資格審査の対象となるのは，我が国における１２年の学校教育の高等学校に対応する外国人学校の課程を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者です。ただし，これら以外の者であっても，各種の学校等における学習歴や単位取得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると認められる者については，個別の入学資格審査の対象とします。

詳細については，大学ホームページを参照ください。
【本学ホームページ：入学資格審査実施要領】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/list_examination.html

Ⅲ．入学者選抜方法等

大学入学共通テスト（令和７年度大学入学共通テストの成績のみを使用します。）及び本学が実施する個別学力検査等の成績と調査書，その他提出書類等を総合して，合格者の選考を行います。一般選抜で，本学が指定する令和７年度大学入学共通テストの教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は，８ページの【別表１】及び９～１０ページの【別表２】のとおりです。実技検査の内容は１１～１９ページを参照してください。

（ア）大学入学共通テストと個別学力検査等の成績の総合計得点順に合否を決定します。
（イ）面接の評価は原則として点数により行います。
（ウ）合格最低点での同点者は，全員合格とします。
（エ）各課程の入学定員に欠員が生じた場合には，上記の基準により総合計得点の高い順に追加合格者を決定します。追加合格における同点者については，個別学力検査の高得点者の順に順位を付けます。

※本学では２段階選抜は実施していません。

◎　本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していなかった場合は，前期日程及び後期日程を受験することができませんので注意してください。また，個別学力検査等を１科目でも受験しなかった場合は，選抜の対象としません。

◎　大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングを含みますが，その試験を欠席した場合は，リスニングの得点は０点として取り扱います。ただし，大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者を除きます。

【別表１】大学入学共通テストの教科・科目名・配点等

◎　令和７年度大学入学共通テストにおいて，本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合は，前期日程，後期日程においては，個別学力検査等の受験を認めません。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）においては，選抜の対象としません。

◎　外国語「英語」には，ICプレイヤーを使用する試験も含みますが，これを欠席した場合は，ICプレイヤーを使用した試験の得点を０点として取り扱います。ただし，大学入学共通テストの受験上の配慮によりこれを免除された者を除きます。

科　目 パターン	教科	配点	グループ	出題科目名等
A **(文系型)**	国語	２００		『国語』（必須）
	地理歴史 公民	２００		『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』『公共，倫理』，『公共，政治･経済』，『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）　から２出題
	数学	１００ １００	① ②	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から１出題科目 『数学Ⅱ，数学B，数学C』（必須）
	理科	１００		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から１出題科目
	外国語	２００		『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から１出題科目
	情報	１００		『情報Ⅰ』（必須）
				〔６教科又は７教科８出題科目〕
B **(理系型)**	国語	２００		『国語』（必須）
	地理歴史 公民	１００		『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』『公共，倫理』，『公共，政治･経済』，『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）　から１出題科目
	数学	１００ １００	① ②	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から１出題科目 『数学Ⅱ，数学B，数学C』（必須）
	理科	２００		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』　から２出題科目
	外国語	２００		『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から１出題科目
	情報	１００		『情報Ⅰ』（必須）
				〔６教科８出題科目〕

【注意事項】

⑴「地理歴史」及び「公民」について，『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合，出題範囲のうちいずれか２科目を選択する。
　また，２出題科目を選択する場合，以下に留意した組合せとする。
　・『公共，倫理』と『公共，政治･経済』の組合せを選択することはできない。
　・『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は，選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の選択をすることはできない。

⑵「数学」において，グループ①の２出題科目のうちから１出題科目を選択する。グループ②については『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち，「数学B」及び「数学C」は，「数学B」の２項目の内容（数列，統計的な推測）及び「数学C」の２項目の内容（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）のうち，３項目の内容の問題を選択し解答する。

⑶「理科」において，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合，出題範囲４科目のうち，いずれか２科目の内容の問題を選択し解答する。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含め，２出題科目を受験する場合，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』で選択した科目と，同一名称を含む出題科目の組合せを選択することはできない。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」及び「地学基礎」と「地学」の組合せをいう。

⑷「外国語」の『英語』は，紙での実施に加え，ICプレイヤーを使用する試験も実施する。ICプレイヤーを使用する試験を免除された者については，紙で実施した試験の得点を２倍にした成績を採用する。

⑸「地理歴史」及び「公民」，又は「理科」において，指定した教科・出題科目数を超えて受験した場合は，原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を採用する。ただし，募集単位により科目パターンが指定されている場合（Ａパターンの場合は「理科」，Ｂパターンの場合は「地理歴史」及び「公民」）は，解答順に，前半６０分で受験した科目を第１解答科目，後半６０分で受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の成績を採用する。

⑹平成２１年３月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程履修者への経過措置として，以下の教科における経過措置科目が選択できる。
　「地理歴史」については，『旧世界史Ａ』，『旧世界史Ｂ』，『旧日本史Ａ』，『旧日本史Ｂ』，『旧地理Ａ』，『旧地理Ｂ』
　「公民」については，『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治･経済』，『旧倫理、旧政治･経済』
　「数学」グループ①については，『旧数学Ⅰ』，『旧数学Ⅰ・旧数学Ａ』
　「数学」グループ②については，『旧数学Ⅱ・旧数学Ｂ』，『旧数学Ⅱ』，『旧簿記・会計』，『旧情報関係基礎』
　「情報」については，現行の選択必修科目「社会と情報」「情報の科学」に対応した『旧情報』

【別表2】一般選抜　大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

◎令和７年度一般選抜において，本学が実施する個別学力検査等を１科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等			学力検査等の区分	募集人員		大学入学共通テスト科目パターン【別表1参照】	大学入学共通テスト配点合計	個別学力検査等の配点等													大学入学共通テスト・個別学力検査等配点合計
								科目名等	国語	数学	理科	英語	小論文	実技検査	面接	理論	総合面接	志望理由書・調査書	調査書	配点合計	
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		前　期	１２名		A又はB	1000	小論文 調査書　※①					200						5	205	1205
	小学校教育専攻プログラム		前　期	４６名		A又はB	1000	小論文 調査書　※②					200						10	210	1210
			後　期	１５名		A又はB	1000	小論文 調査書　※②					200						10	210	1210
	人文・社会教育プログラム	（国語系科目）	前　期	７５名	２５名程度	A	1000	国語　※③ 志望理由書・調査書　※④	300									25		325	1325
		（社会科系科目）			２５名程度			小論文 志望理由書・調査書　※④					300					25		325	1325
		（英語系科目）			２５名程度			英語　※⑤ 志望理由書・調査書　※④				300						25		325	1325
			後　期	３０名		A	1000	小論文 志望理由書・調査書　※④					200					25		225	1225
	理数教育プログラム		前　期	５０名		B	1000	数学又は理科のいずれか　※⑥ （＊印の教科内で選択） 面接		＊ 400	＊ 400				100					500	1500
			後　期	１５名		B	1000	小論文 面接（口頭試問を含む。）　※⑦					100		400					500	1500
	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	前　期	６５名	１３名程度	A又はB	1000	実技検査 面接 音楽理論　※⑧ 調査書　※⑨						300	100	100			10	510	1510
		（美術系科目）	前　期		１５名程度	A又はB	1000	小論文 実技検査 面接 調査書　※⑨					100	300	100				10	510	1510
		（体育系科目）	前　期		２０名程度	A又はB	1000	実技検査 面接 保健体育理論　※⑩ 調査書　※⑨						300	100	100			10	510	1510
		（家庭系科目）	前　期		１２名程度	A又はB	1000	小論文 面接 調査書　※⑨					400		100				10	510	1510
		（技術ものづくり系科目）	前　期		５名程度	A又はB	1000	面接 総合面接　※⑪ 調査書　※⑨							100		400		10	510	1510

【注意事項】

※①「調査書」は，全体の学習成績の状況が4．5以上の者について5点加点します。

※②「調査書」は，全体の学習成績の状況が4．5以上の者について10点加点します。

※③「国語」は，「現代の国語」，「言語文化」，「論理国語」，「文学国語」，「古典探究」を出題範囲とします。

※④「志望理由書・調査書」は，志望理由書，調査書を総合して教職への意欲等を評価し，0～25点の範囲内で加点します。

※⑤「英語」は，リーディング・ライティング・リスニングを課します。

※⑥ 配点に＊印を付してある教科は，同じ印の中での選択教科を表します。前期日程の初等教育教員養成課程理数教育プログラムでは，「数学」又は「理科」から1教科を選択してください。なお,「数学」，「理科」の教科間で得点の調整（中央値補正）を行います。「理科」を選択する場合はさらに「物理基礎及び物理」，「化学基礎及び化学」，「生物基礎及び生物」，「地学基礎及び地学」から1科目選択してください。「数学」は，数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cを範囲とし，数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」を，数学Bは「数列」を，数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※⑦「面接（口頭試問を含む。）」では，「数学」，「物理基礎及び物理」，「化学基礎及び化学」，「生物基礎及び生物」，「地学基礎及び地学」から1科目を選択してください。

※⑧「音楽理論」では，楽典について出題します。

※⑨「調査書」は，配点を10点とし，次の（1）（2）の合計とします。

（1）調査書の学習成績の状況が4．5以上の者について5点加点します。　（2）芸術に関する活動（作品展，コンクール受賞歴など），体育・スポーツ活動，家庭科に関する活動，技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み，あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し，0点～5点までの範囲内で加点します。

※⑩「保健体育理論」では，中学校・高等学校で学修する保健体育に関する知識や理解度を問います。

※⑪「総合面接」は，小論文，口頭試問を含みます。

【別表2】一般選抜　大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

◎令和７年度一般選抜において，本学が実施する個別学力検査等を１科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等			学力検査等の区分	募集人員	大学入学共通テスト科目パターン【別表1参照】	大学入学共通テスト配点合計	個別学力検査等の配点等													大学入学共通テスト・個別学力検査等配点合計
							科目名等	国語	数学	理科	英語	小論文	実技検査	面接	理論	総合面接	志望理由書・調査書	調査書	配点合計	
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	前　期	１２名	A	1000	国語　※⑫ 志望理由書・調査書　※⑬	400									25		425	1425
		社会科専攻	前　期	１２名	A	1000	小論文 志望理由書・調査書　※⑬					400					25		425	1425
		数学専攻	前　期	２０名	B	1000	数学　※⑭ 面接		400					100					500	1500
			後　期	８名	B	1000	数学　※⑭ 面接		400					100					500	1500
		理科専攻	前　期	２７名	B	1000	理科　※⑮ 面接			400				100					500	1500
			後　期	８名	B	1000	小論文 面接（口頭試問を含む。）　※⑮					100		400					500	1500
		英語専攻	前　期	１０名	A	1000	英語　※⑯ 志望理由書・調査書　※⑬				400						25		425	1425
		音楽専攻	前　期	８名	A又はB	1000	小論文 実技検査 音楽理論　※⑰ 調査書　※⑱					100	500		100			10	710	1710
		美術専攻	前　期	５名	A又はB	1000	小論文 実技検査 面接 調査書　※⑲					100	200	100				5	405	1405
		保健体育専攻	前　期	１２名	A又はB	1000	実技検査 面接 保健体育理論　※⑳ 調査書　※⑱						300	100	100			10	510	1510
		家庭専攻	前　期	７名	A又はB	1000	小論文					300							300	1300
		技術専攻	前　期	８名	A又はB	1000	面接（資料作成を含む。）							300					300	1300
		書道専攻	前　期	７名	A又はB	1000	小論文 実技検査 面接 調査書　※㉑					100	500	100				10	710	1710
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		前　期	２５名	A又はB	1000	小論文 面接　※㉒					200		ABC					200	1200
			後　期	１０名	A又はB	1000	小論文 調査書　※⑱					200						10	210	1210
	特別支援教育中等教育プログラム		前　期	１４名	A又はB	1000	小論文 面接　※㉒					200		ABC					200	1200
			後　期	６名	A又はB	1000	小論文 調査書　※⑱					200						10	210	1210

【注意事項】

※⑫ 「国語」は，「現代の国語」，「言語文化」，「論理国語」，「文学国語」，「古典探究」を出題範囲とします。

※⑬ 「志望理由書・調査書」は，志望理由書，調査書を総合して教職への意欲等を評価し，０～25点の範囲内で加点します。

※⑭ 「数学」は，数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cを範囲とし，数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」を，数学Bは「数列」を，数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※⑮ 前期日程の「理科」及び後期日程の「面接（口頭試問を含む。）」では，「物理基礎及び物理」，「化学基礎及び化学」，「生物基礎及び生物」，「地学基礎及び地学」から1科目を選択してください。

※⑯ 「英語」は，リーディング・ライティング・リスニングを課します。

※⑰ 「音楽理論」では，楽典及び音楽史・音楽理論全般について出題します。

※⑱ 「調査書」は，全体の学習成績の状況が4．5以上の者について10点加点します。

※⑲ 「調査書」は，芸術活動，ボランティア活動，部活動，地域貢献等の課外活動の多様な実績を評価し，０～５点の範囲内で加点します。

※⑳ 「保健体育理論」では，中学校・高等学校で学修する保健体育に関する知識や理解度を問います。

※㉑ 「調査書」は，国語の学習成績の状況が4．0以上の者について10点加点します。

※㉒ 「面接」は，ABCの3段階で評価し，その評価がCの者は不合格とします。

実技検査の内容について

※該当の課程及びプログラム・専攻等のみ記載しています。個別学力検査等は１科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。科目や配点の詳細は９～１０ページを確認してください。

① 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（音楽系科目）　・・・・・・・　Ｐ１２

② 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　音楽専攻　・・・・・・・　Ｐ１３～１４

③ 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（美術系科目）　・・・・・・・　Ｐ１５

④ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　美術専攻　・・・・・・・　Ｐ１５

⑤ 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（体育系科目）　・・・・・・・　Ｐ１６
◎　実技検査（体育）受験上の注意　・・・・・・・　Ｐ１８

⑥ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　保健体育専攻　・・・・・・・　Ｐ１７
◎　実技検査（体育）受験上の注意　・・・・・・・　Ｐ１８

⑦ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　書道専攻　・・・・・・・　Ｐ１９

① 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（音楽系科目）

受験者は，以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】歌唱

１．小学校歌唱共通教材

以下の４曲より任意の１曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

・ふじ山　　文部省唱歌　（ハ長調）　２番まで
・もみじ　　文部省唱歌　（ヘ長調）　２番まで
・スキーの歌　　文部省唱歌　（ト長調）　２番まで
・われは海の子　　文部省唱歌　（ニ長調）　２番まで

※（ア）１．小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。
（イ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

２．歌曲

以下の歌曲より任意の１曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

・母　　小松　耕輔作曲　（変イ長調）
・くちなし　　高田　三郎作曲　（ヘ長調）
・Sebben crudele　　カルダーラ作曲　（ニ短調）
・La Serenata　　トスティ作曲　（ヘ長調）

※（ア）２．歌曲を指定以外の調で演奏する者は，「志願票兼出願確認票」とともに伴奏楽譜を提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
（イ）演奏は，原語とします。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の１曲を選び，その第１楽章を演奏してください。

KV280，　KV283，　KV309，　KV330，　KV332，　KV457，　KV545

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

② 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　音楽専攻

受験者は，以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は，３部門（１．視唱，２．声楽，３．ピアノ）を必ず演奏してください。

１．視唱

コールユーブンゲン第１巻，原書 No.1～No.59 までの中から，当日指定したものを演奏してください。

２．声楽

以下の歌曲より任意の１曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

・Lasciar d'amarti	ガスパリ―ニ作曲	（ヘ短調）
・Star vicino	ローザ作曲	（イ長調）
・L'ultima canzone	トスティ作曲	（ニ短調）
・O del mio amato ben	ドナウディ作曲	（変イ長調）

※（ア）歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
（イ）演奏は，原語とします。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

３．ピアノ

J.S.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の１曲を選び，演奏してください。

・インヴェンション BWV772～BWV786（ただし，BWV772 ハ長調，BWV773 ハ短調，BWV774 ニ長調，BWV775 ニ短調，BWV779 ヘ長調，BWV781 ト長調は除く）
・シンフォニア BWV787～BWV801（ただし，BWV791 変ホ長調は除く）
・平均律クラヴィーア曲集 第１巻 BWV846～BWV869 のフーガ
・平均律クラヴィーア曲集 第２巻 BWV870～BWV893 のフーガ

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

（次ページへ続く）

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※以下の１．から４．までの４種類の受験方法の中から**<u>一つを選択して</u>**受験してください。

１．ピアノで受験する者

L.v.ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の１曲を選び，その第１楽章又は終楽章を演奏してください。

ただし，Op.26，Op.27-1，Op.27-2（第１楽章），Op.49-1，Op.49-2，Op.54，Op.79 は除きます。

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

２．声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオのアリアを含む）を１曲，**<u>暗譜</u>**で演奏してください。

<u>ただし，【Ⅰ】共通音楽実技課題　２．声楽で課題として指定した曲を除きます。</u>

※（ア）伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
（イ）演奏は原語とし，演奏時間は４分以内とします。
（ウ）歌曲の調については自由ですが，オペラ又はオラトリオのアリアについては，原調で演奏してください。
（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

３．管楽器又は弦楽器で受験する者

任意の１曲又は，一つの楽章を選び演奏してください。

なお，選択できる楽器は以下の通りです。

フルート，オーボエ，クラリネット（標準サイズＢ♭管又はＡ管），バスーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。
（イ）試験の際に伴奏を付けるので，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は，伴奏楽譜の提出の必要はありません。
（ウ）演奏は，暗譜でなくても構いません。
（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

４．作曲で受験する者

４声体による和声課題（バス課題，ソプラノ課題又はその混合課題とし，非和声音を含む程度）を１題課します。

【試験時間　１２０分】

③ 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（美術系科目）

構想画を課します。（読書感想画など）

※（ア）鉛筆，水彩絵の具，筆，パレット，筆洗，雑巾を持参してください。
（イ）クレヨン等の彩色用具の持参，使用も可能です。
（ウ）画架，画板，画紙，画鋲は大学側で準備します。

④ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　美術専攻

鉛筆画を課します。（静物）

※（ア）鉛筆，消し具，はかり棒等，鉛筆画に必要な用具を持参してください。
（イ）画架，画板，画紙，画鋲は大学側で準備します。
（ウ）描画補助具として，はかり棒のみ使用を認めます。

⑤ 初等教育教員養成課程　芸術・実技教育プログラム　（体育系科目）

受験者は，以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。
※１８ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅰ】専門種目

陸上競技，競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の中から１種目を選択しますが，上記種目に該当する専門種目がない場合でも，必ず上記の種目の中から１種目を選択し，本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し，志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については，出願後変更できません。

【Ⅱ】選択種目

４つの選択種目（走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンス）から２つの種目を選び，**マット運動と合わせて，合計３種目を受験してください。**ただし，上記の「【Ⅰ】専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって，種目の選択にあたっては，下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については，出願後変更できません。

１．専門種目で「陸上競技」を受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種　　目
マット運動（必須）
柔道，剣道，創作ダンスの中から２種目

２．専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種　　目
マット運動（必須）
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から２種目

３．専門種目で「ダンス，柔道，剣道」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目のうち，**専門種目以外の種目**を受験してください。

種　　目
マット運動（必須）
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から２種目

※（ア）専門種目で「ダンス」を受験する者は，選択種目で「創作ダンス」は選択できません。
※（イ）専門種目で「柔道」を受験する者は，選択種目で「柔道」は選択できません。
※（ウ）専門種目で「剣道」を受験する者は，選択種目で「剣道」は選択できません。

⑥ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　保健体育専攻

受験者は，以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。
※１８ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅰ】専門種目

陸上競技，競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の中から１種目を選択しますが，上記種目に該当する専門種目がない場合でも，必ず上記の種目の中から１種目を選択し，本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し，志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については，出願後変更できません。

【Ⅱ】選択種目

４つの選択種目（走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンス）から２つの種目を選び，**マット運動と合わせて，合計３種目を受験してください。**ただし，上記の「【Ⅰ】専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって，種目の選択にあたっては，下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については，出願後変更できません。

１．専門種目で「陸上競技」を受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種　　目
マット運動（必須）
柔道，剣道，創作ダンスの中から２種目

２．専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種　　目
マット運動（必須）
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から２種目

３．専門種目で「ダンス，柔道，剣道」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目のうち，**専門種目以外の種目**を受験してください。

種　　目
マット運動（必須）
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から２種目

※（ア）専門種目で「ダンス」を受験する者は，選択種目で「創作ダンス」は選択できません。
※（イ）専門種目で「柔道」を受験する者は，選択種目で「柔道」は選択できません。
※（ウ）専門種目で「剣道」を受験する者は，選択種目で「剣道」は選択できません。

◎実技検査（体育）受験上の注意

（ア）試技する際に着用するすべてのウエアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦２０ｃｍ×横３０ｃｍ）を必ず縫いつけ，約１．５ｃｍ幅の黒字で受験番号の下３桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△○には受験番号下３ケタを書いてください。 初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」 中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・・・・・「中体○○○」

ただし，次の場合は注意してください。

・柔道の場合は，背部のみに縫いつけてください。
・剣道の場合は，袋状のゼッケンを作成し，タレの前面にかぶせるようにしてください。
・競泳，ダンスの場合は，何も縫いつけなくて構いません。

（イ）専門種目で使用するウエア，シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む），剣道具，竹刀，槍，スイミングキャップ，バット（金属可），グローブ等の個人用具は，すべて各自持参してください。

ダンスで専門種目を受験する者は，自由なテーマに基づく創作作品（２分以上２分５５秒以内）を用意し，音楽については，ＣＤ（ＣＤ－Ｒ），ＵＳＢメモリを必ず用意してください。（ただし，無音も可。）

なお，作品用衣装がある場合は，着用して演技してください。また，ＣＤについては，パソコンを除く一般の音楽再生機器（ＣＤプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ，持参してください。（ＣＤが再生できない場合は，無音での実技となります。）

（ウ）選択種目で使用するウエア（選択種目の「柔道」における柔道衣を含む），シューズは，各自持参してください。

なお，選択種目の「剣道」で使用する防具，竹刀等は，大学で用意しますが，自己のものを使用しても構いません。

（エ）体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

なお，選択種目の「走り幅跳び」では，スパイクシューズの使用はできません。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

⑦ 中等教育教員養成課程　中等教育プログラム　書道専攻

受験者は，以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

【Ⅱ】創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

（自由に切って表現しても構いません。ただし，全紙１／４より大きい作品にしてください。）

※（ア）筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。
用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

（イ）罫線が印刷された下敷は使用できません。

（ウ）以下の条件をすべて満たす書籍に限り，字典の持ち込みを認めます。

① 書籍販売されていること。

② 古典作品を集字したもの。

③ 五書体全てを含んでいるもの。

④ 特定の人物の書を集字したものでないこと。（例 趙之謙字典，王鐸字典などは不可）

Ⅳ．評価の観点

〈前期日程〉

<table>
<tr><th>課程</th><th colspan="2">プログラム・専攻</th><th>観　点　等</th></tr>
<tr><td rowspan="8">初等教育教員養成課程</td><td colspan="2">幼児教育プログラム</td><td>◆　小論文は，教育に関わる内容を出題します。教職に対する意欲，主体性を持って課題に取り組もうとする姿勢，読解力・思考力，基本的な文章構成力，表現の豊かさ等の観点から評価します。
●　調査書は，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について５点加点します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小学校教育専攻プログラム</td><td>◆　小論文は，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。
●　調査書は，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について１０点加点します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">人文・社会教育プログラム</td><td>（国語系科目）</td><td>●　志望理由書・調査書は，教職への意欲や国語を学ぶ上での適性を総合的に判断し，０～２５点の範囲で加点します。</td></tr>
<tr><td>（社会科系科目）</td><td>◆　小論文は，社会を考える内容を出題します。本課程で学ぶために必要な，読解力・分析力・表現力・論理性等の観点から評価します。
●　志望理由書・調査書は教職への意欲や社会科に関する学問領域についての適性を総合的に判断し，０～２５点の範囲で加点します。</td></tr>
<tr><td>（英語系科目）</td><td>●　志望理由書・調査書は，教職への意欲や英語に対する興味や適性を総合的に判断し，０～２５点の範囲で加点します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">理数教育プログラム</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，理数教育プログラムで学びに向かう姿勢を評価します。</td></tr>
<tr><td>芸術・実技教育プログラム</td><td>（音楽系科目）</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
○　実技検査は，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。
　音楽実技検査票は，音楽実技検査の準備等のために提出を求めるものであり，その記載内容が評価を左右することはありません。
●　調査書は，①と②の合計が評点となります。
①学習成績の状況が４．５以上の者について５点加点を行います。
②芸術・実技に関する活動（コンクール受賞歴など）を評価し，
　０点～５点までの範囲内で点数化します。音楽に関しては，学校内の活動（学校内の行事としての合唱の発表会等）は評価の対象とはならず，学校外のコンクールに個人で出場し表彰されたものを評価の対象とします。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>課程</th><th colspan="2">プログラム・専攻</th><th>観　点　等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">初等教育教員養成課程</td><td rowspan="3">芸術・実技教育プログラム</td><td>（美術系科目）</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
◆　小論文は，美術作品に関わる内容を出題し，自らの考えを適切に表現する文章力等を評価します。
○　実技検査は，平面における基礎描写力や用具の使い方等の基本的な造形力について総合的に評価します。
●　調査書は，①と②の合計が評点になります。
①学習成績の状況が４．５以上の者について５点加点を行います。
②美術に関する学校内外の活動（作品展，コンクール受賞歴等）を評価し，０点～５点までの範囲内で点数化します。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。</td></tr>
<tr><td>（体育系科目）</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
○　実技検査は，専門種目では，種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（集団種目は，個人的技能や集団的技能を含む。）を評価します。選択種目では，専門種目以外の種目の特性に応じた技能を評価します。専門種目と選択種目の合計点が実技検査の評価になります。
　競技歴調査書は，体育実技検査の準備等のために提出を求めるものであり，その記載内容が評価を左右することはありません。
●　調査書は，①と②の合計が評点になります。
①学習成績の状況が４．５以上の者について５点加点を行います。
②体育・スポーツ活動を評価し，０～５点までの範囲内で点数化します。体育・スポーツ活動に関しては，学校内の活動（運動会等）は評価の対象とはならず，公式試合等での入賞（体育・スポーツ関係）を評価の対象とします。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。</td></tr>
<tr><td>（家庭系科目）</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
◆　小論文は，家庭（家庭基礎，家庭総合）に関する内容を出題します。本プログラムで学ぶために必要な生活事象に関わる課題の理解力，読解力，論理的思考力，表現力等から総合的に評価します。
●　調査書は，①と②の合計が評点になります。
①学習成績の状況が４．５以上の者について５点加点を行います。
②家庭科に関する活動を評価し，０点～５点までの範囲内で点数化します。高等学校までの家庭科に関する学校内外の取り組みへの参画や，その内容を評価の対象とします。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。</td></tr>
</table>

課程	プログラム・専攻		観　点　等
初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	（技術ものづくり系科目）	■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。 ◇　**総合面接は**，小論文，口頭試問（個別）を含み，技術ものづくり（設計・製作，プログラミング，エネルギーの利用，動植物の育成）の内容から出題し，芸術・実技教育プログラムで学ぶための，資質，能力等を総合的に評価します。 ●　**調査書は**，①と②の合計が評点になります。 ①学習成績の状況が４．５以上の者について５点加点を行います。 ②技術ものづくりに関わる高等学校までの取り組みや，その内容を評価し，０点～５点までの範囲内で点数化します。また，ボランティア活動等の多様な実績を評価の対象にすることがあります。
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	●　**志望理由書・調査書は**，教職への意欲や国語を学ぶ上での適性を総合的に判断し，０～２５点の範囲で加点します。
		社会科専攻	◆　**小論文は**，社会を考える内容を出題します。本専攻で学ぶために必要な，読解力・分析力・表現力・論理性等の観点から評価します。 ●　**志望理由書・調査書は**，教職への意欲や社会科に関する学問領域についての適性を総合的に判断し，０～２５点の範囲で加点します。
		数学専攻	■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，数学専攻で学びに向かう姿勢を評価します。
		理科専攻	■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，理科専攻で学びに向かう姿勢を評価します。
		英語専攻	●　**志望理由書・調査書は**，教職への意欲や英語に対する興味や適性を総合的に判断し，０～２５点の範囲で加点します。
		音楽専攻	◆　**小論文は**，音楽教育に関わる内容を出題します。認識力，創造力，文章力等に重点をおいて評価します。 ○　**実技検査は**，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。 **音楽実技検査票は**，音楽実技検査の準備等のために提出を求めるものであり，その記載内容が評価を左右することはありません。 ●　**調査書は**，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について１０点加点します。
		美術専攻	■　**面接は**，個別で行います。美術に関する活動経験や体験，教育に対する意欲等を述べてもらい，本専攻で学ぶための適性を総合的に評価します。 ◆　**小論文は**，美術作品に関わる内容を出題し，自らの考えを適切に表現する文章力等を評価します。 ○　**実技検査は**，平面における基礎的描写力や構成力等の基礎的な表現力について，総合的に評価します。 ●　**調査書は**，美術に関する活動，及びボランティア活動，部活動，地域貢献等の多様な実績を評価し，０～５点の範囲内で加点します。

<table>
<tr><th>課程</th><th colspan="2">プログラム・専攻</th><th>観　点　等</th></tr>
<tr><td rowspan="4">中等教育教員養成課程</td><td rowspan="4">中等教育
プログラム</td><td>保健体育
専攻</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，大学での学修への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，保健体育専攻としてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
○　実技検査は，専門種目では，種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（集団種目については，個人的技能や集団的技能を含む。）について評価します。選択種目は，専門種目以外の種目を選択し，種目の特性に応じた技能について評価します。専門種目と選択種目の合計点が実技検査の評価になります。
　競技歴調査書は，体育実技検査の準備等のために提出を求めるものであり，その記載内容が評価を左右することはありません。
●　調査書は，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について１０点加点します。</td></tr>
<tr><td>家庭専攻</td><td>◆　小論文は，家庭（家庭基礎，家庭総合）に関する内容を出題します。本専攻で学ぶために必要な生活事象に関わる課題の理解力，読解力，論理的思考力，表現力等から総合的に評価します。</td></tr>
<tr><td>技術専攻</td><td>■　面接（資料作成を含む。）は，提示された課題について各自で資料を作成した上で，集団で行います。志望動機や自己アピールなどのほか，課題について集団討論を行います。この面接で，教職への意欲，学修への意欲，本専攻に対する適性や能力，積極性，思考力，判断力，表現力，多様な人々と協働して学ぶ態度などを総合的に評価します。</td></tr>
<tr><td>書道専攻</td><td>■　面接は，集団で行います。この面接で，基礎的な教師の資質や本専攻に対する適性などを総合的に評価します。
◆　小論文は，書道・書道教育に関する内容を出題します。基礎知識や基本姿勢を問うのが出題のねらいです。与えられた課題に対する理解力，思考力，表現力等を評価します。
○　実技検査は，臨書課題において，高等学校芸術科書道の教科書に掲載されている種々の古名跡について，臨書表現の基礎的資質を評価します。また，創作課題においては，制作力の基礎的資質を評価します。
●　調査書は，国語の学習成績の状況が４．０以上の者について１０点加点します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特別支援教育教員養成課程</td><td colspan="2">特別支援教育
初等教育プログラム</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。
◆　小論文は，論理的に思考・判断してそれを文章で表現する力を評価します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育
中等教育プログラム</td><td>■　面接は，個別で行います。教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。
◆　小論文は，論理的に思考・判断してそれを文章で表現する力を評価します。</td></tr>
</table>

・調査書による加点がないプログラム・専攻については，出願要件（学習成績の状況）の確認及び勉学意欲を十分備えているか等を判断するための資料にします。

・「高等学校」には，特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含みます。

〈後期日程〉

課程	プログラム・専攻		観　点　等
初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム		◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ●　**調査書は**，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について１０点加点します。
	人文・社会教育プログラム		◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。 ●　**志望理由書・調査書は**，教職への意欲や人文・社会系科目（国語，社会，英語）の適性を総合的に判断し，　０～２５点の範囲で加点します。
	理数教育プログラム		■　**面接（口頭試問を含む。）は**，個別で行います。数学又は理科に関する基礎知識や理解度，教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，理数教育プログラムで学びに向かう姿勢を評価します。 ◆　**小論文は**，教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識，論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	数学専攻	■　**面接は**，個別で行います。教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，数学専攻で学びに向かう姿勢を評価します。
		理科専攻	■　**面接（口頭試問を含む。）は**，個別で行います。自然科学に関する基礎知識や理解度と適切な表現力，自然科学を教える教師としての資質や姿勢，修学意欲及び社会活動への参加意欲などの観点から総合的に評価します。 ◆　**小論文は**，学校教育や教科に関連する課題について出題します。学校教育や教科に対する関心や問題意識，読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育 初等教育プログラム		◆　**小論文は**，論理的に思考・判断してそれを文章で表現する力，ならびに主体的かつ協働的な学び，教職への意欲等の観点から評価します。 ●　**調査書は**，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について１０点加点します。
	特別支援教育 中等教育プログラム		◆　**小論文は**，論理的に思考・判断してそれを文章で表現する力，ならびに主体的かつ協働的な学び，教職への意欲等の観点から評価します。 ●　**調査書は**，全体の学習成績の状況が４．５以上の者について１０点加点します。

・調査書による加点がないプログラム・専攻については，出願要件（学習成績の状況）の確認及び勉学意欲を十分備えているか等を判断するための資料にします。

Ⅴ．試験時間割

・志願者数又は試験実施上の理由等により，時間割の変更あるいは試験開始時間前に集合させることもありますので留意してください。その場合には，本学ホームページにて試験の１週間前までを目処にお知らせします。

・実技検査及び面接は，１７時までに終了する予定ですが，受験者数又は試験実施上の理由によっては終了しないこともがあります。帰りの交通機関等の予約には注意してください。

１．前期日程

課程及びプログラム・専攻等			２月２５日（火）		２月２６日（水）	
			科目名	試験時間	科目名	試験時間
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		小論文	１０：００～１２：００		
	小学校教育専攻プログラム		小論文	１０：００～１１：００		
	人文・社会教育プログラム	（国語系科目）	国語	１２：３０～１４：３０		
		（社会科系科目）	小論文	１０：００～１１：４０		
		（英語系科目）	英語	１２：３０～１４：１０（注２）		
	理数教育プログラム		数学	１０：００～１１：４０	面接	９：００～
			理科	１０：００～１１：２０		
	芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	面接	９：００～	音楽理論	９：００～１０：００
			実技検査	面接終了後～		
		（美術系科目）	面接	９：００～		
			小論文	１１：３０～１２：３０		
			実技検査	１３：３０～１６：３０		
		（体育系科目）	保健体育理論	９：００～１０：００	実技検査（専門種目）	９：００～（８：３０に大体育館へ集合）
			面接	１０：３０～	実技検査（選択種目）	１３：３０～（１３：００に大体育館へ集合）

課程及びプログラム・専攻等			２月２５日（火）		２月２６日（水）	
			科目名	試験時間	科目名	試験時間
初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	（家庭系科目）	面接	９：００～（注１）	面接	１３：００～（注１）
			小論文	１２：３０～１３：５０		
		（技術ものづくり系科目）	面接	９：００～		
			総合面接	１２：３０～		
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	国語	１２：３０～１４：３０		
		社会科専攻	小論文	１３：３０～１５：１０		
		数学専攻	数学	１０：００～１２：００		
			面接	１３：３０～		
		理科専攻	理科	１０：００～１１：２０		
			面接	１３：００～		
		英語専攻	英語	１２：３０～１４：１０（注２）		
		音楽専攻			音楽理論	９：００～１０：００
					小論文	１０：３０～１１：３０
					実技検査	１２：３０～
		美術専攻	小論文	１１：３０～１２：３０	面接	９：００～
			実技検査	１３：３０～１６：３０		
		保健体育専攻	保健体育理論	９：００～１０：００	実技検査（専門種目）	９：００～（８：３０に大体育館へ集合）
			面接	１０：３０～	実技検査（選択種目）	１３：３０～（１３：００に大体育館へ集合）

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">課程及びプログラム・専攻等</th><th colspan="2">２月２５日（火）</th><th colspan="2">２月２６日（水）</th></tr>
<tr><th>科目名</th><th>試験時間</th><th>科目名</th><th>試験時間</th></tr>
<tr><td rowspan="4">中等教育教員養成課程</td><td rowspan="3">中等教育プログラム</td><td>家庭専攻</td><td>小論文</td><td>１２：３０～１３：５０</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>技術専攻</td><td colspan="2"></td><td>面接
（資料作成を含む。）</td><td>９：００～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">書道専攻</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td><td rowspan="2">実技検査</td><td rowspan="2">９：００～１１：３０</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>１２：３０～</td></tr>
<tr><td rowspan="4">特別支援教育教員養成課程</td><td colspan="2" rowspan="2">特別支援教育初等教育プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td><td rowspan="2">面接</td><td rowspan="2">１０：００～(注１)</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>１２：３０～(注１)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">特別支援教育中等教育プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td><td rowspan="2">面接</td><td rowspan="2">１０：００～(注１)</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>１２：３０～(注１)</td></tr>
</table>

（注１）初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（家庭系科目），特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム及び特別支援教育中等教育プログラムの面接については，受験者数又は試験実施上の理由により２月２６日（水）にも実施することがあります。なお，実施期日・時間等については本学ホームページにて試験の１週間前までを目処にお知らせします。

（注２）初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラム（英語系科目）及び中等教育教員養成課程中等教育プログラム英語専攻の「リスニングテスト」は，学力検査「英語」の試験時間中に行います。

２．後期日程

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">課程及びプログラム・専攻等</th><th colspan="2">３月１２日（水）</th><th colspan="2">３月１３日（木）</th></tr>
<tr><th>科目名</th><th>試験時間</th><th>科目名</th><th>試験時間</th></tr>
<tr><td rowspan="3">初等教育教員養成課程</td><td colspan="2">小学校教育専攻プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">人文・社会教育プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td></tr>
<tr><td colspan="2">理数教育プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td><td>面接
（口頭試問を含む。）</td><td>９：００～</td></tr>
<tr><td rowspan="4">中等教育教員養成課程</td><td rowspan="3">中等教育プログラム</td><td rowspan="2">数学専攻</td><td>数学</td><td>１０：００～１２：００</td><td colspan="2" rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>面接</td><td>１３：３０～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理科専攻</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：００</td></tr>
<tr><td>面接
（口頭試問を含む。）</td><td>１２：３０～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特別支援教育教員養成課程</td><td colspan="2">特別支援教育初等教育プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：４０</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育中等教育プログラム</td><td>小論文</td><td>１０：００～１１：４０</td></tr>
</table>

Ⅵ．出願手続

１．出願期間

出願に必要な書類等の提出期間
　令和７年１月２７日（月）から２月５日（水）まで**（１７時必着）**
インターネット出願登録期間
　令和７年１月２０日（月）から２月５日（水）まで**（１７時まで）**

【注意】
　前期日程及び後期日程とも同一期間に出願を受け付けます。

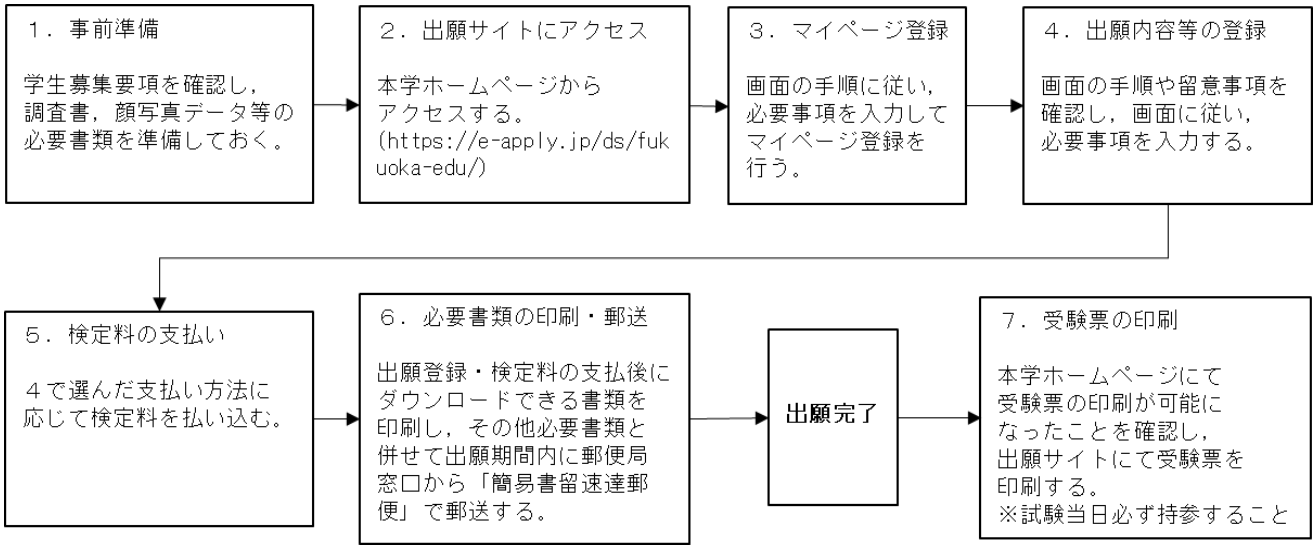
２．出願手順

インターネットを利用した出願方法となります。なお，インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。**出願期間内に，次の３点の手続を必ず完了する必要があります。**

・インターネットを利用した出願登録
・検定料の支払い
・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合，受験できませんので十分ご注意ください。
なお，出願に必要な書類等は出願期間内に到着する必要があります。

出願の流れは以下のとおりです。



３．検定料

１７，０００円（別途，払込手数料が発生します。）

【注意】払い込まれた検定料は，次の場合を除き返還しません。

①出願書類を提出しなかった場合。

②出願書類が受理されなかった場合。

③出願書類が受理された後に大学入学共通テストの受験科目の不足により出願の資格がないことが判明した場合。

④誤って二重又は過剰に納付した場合。

・①，②，④の場合は，納付した者の申し出により，検定料として払い込まれた額又は過剰に払い込まれた額のうち振込手数料等の実費を除く額を返還します。

・③の場合は，13,000 円より振込手数料等の実費を除く額を返還します。

・①に該当する場合は，福岡教育大学入試課（０９４０－３５－１２３５）へ連絡してください。

・②，③，④に該当する場合は，本学から連絡します。

◎入学検定料の特別措置について

本学では，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，次のとおり入学検定料免除の特別措置を実施します。特別措置を希望される志願者（保護者等を含む）は，インターネット出願前に必ず入試課までご連絡ください。

（１）免除の対象者

令和４年４月以降に発生した大規模災害における災害救助法（昭和２２年法律第１１８号）の適用地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する方

①志願者又は志願者の主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊若しくは流出，大規模半壊，又は半壊若しくは床上浸水した場合

②主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

（２）申請の方法

市町村等が証明し発行する「罹災証明書」（写し可）等，必要な書類がありますので，申請の際には本学のホームページをご確認ください。

【本学ホームページ：入学検定料の特別措置】

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/r_fee/index.html

（３）その他

①入学料・授業料については，申請により免除又は徴収猶予されることがあります。入学手続き時に，別途申請手続きが必要となります。

②調査書が得られない場合には，卒業（見込）証明書又は成績通信簿等を提出することで代えることができます。

◎連絡先　　福岡教育大学入試課　　TEL　０９４０－３５－１２３５

４．出願に必要な書類等

出願書類等は，次の表のとおりです。①についてはインターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/）からダウンロードしてください。④～⑤については本学所定の用紙を本学のホームページ（https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/general.html）からダウンロードしてください。

【出願書類等の内容】

書類の名称	提出者	摘　　要
①志願票兼 出願確認票	全員	インターネット出願サイトを通しての出願登録・検定料の支払完了後にダウンロードし，印刷してください。
②共通テスト 成績請求票	全員	前期日程に出願する者は大学入試センター発行の「前 令和７共通テスト成績請求票国公立前期日程用」を，後期日程に出願する者は大学入試センター発行の「後 令和７共通テスト成績請求票国公立後期日程用」を，志願票兼出願確認票の所定の欄に貼付してください。
③調査書	全員	出身学校長等において作成し，**厳封**したものを提出してください。また，別紙の添付は可能ですが，調査書内に別紙がある旨を必ず記載し，調査書に同封して提出してください。 ※高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）は，その合格証明書や合格成績証明書，又はその資格を証明する書類を提出することで代えることができます。この場合でも，高等学校等に在学したことのある者は，在学期間中の成績証明書を併せて提出してください。 ※高等学校における指導要録の保存期間経過及び廃校・被災等の事情により調査書の提出ができない場合は，卒業証明書及び成績証明書を提出してください。ただし，成績証明書も保存期間経過等のため提出ができない場合は，出身学校等を所管する教育委員会又は高等学校等が作成した「調査書及び成績証明書が発行できない旨の証明書」を卒業証明書とあわせて提出してください。
④志望理由書	該当者	志望先が以下に該当する者は，本学所定の用紙に志願者本人が記入し提出してください。（注１） ・初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラム　**※前期日程・後期日程** ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム国語専攻 ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム社会科専攻 ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム英語専攻
⑤音楽実技 検査票	該当者	志望先が以下に該当する者は，本学所定の用紙により提出してください。（注１） ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（音楽系科目） ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻
⑥競技歴 調査書	該当者	志望先が以下に該当する者は，本学所定の用紙により提出してください。（注１） ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目） ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻 **※作成の際は「８．競技歴調査書「３．専門種目の競技歴」記入上の注意等」をよく確認してください。** **※両面印刷してください。**

注１．書類はＡ４サイズで印刷してください。また，黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。
注２．出願書類は，本学での受理後，原則として返却しませんのでご注意ください。

５．提出方法

インターネット出願サイトで出願書類提出用宛名シートをダウンロード・印刷し，市販の角形２号封筒に貼付し，出願書類を入れて，**郵便局の窓口で「簡易書留郵便」にて速達で郵送してください。（令和７年２月５日（水）１７時必着）**

【出願書類等の提出宛先】
〒811－4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学入試課

６．出願に際しての注意事項

（１）郵送期間等を十分考慮して，**出願期間内に届くよう送付してください。**（出願期間後に到着した場合は，受理できません。）
（２）**出願書類に不備がある場合には，受理できないことがあります。**郵送する前に必ず記入内容を点検し，提出すべき全ての書類が整っているか確認してください。
（３）**志願票兼出願確認票受理後は，住所・連絡先以外の記載事項及び書類の変更を認めません。**
（４）出願後に住所・連絡先を変更した場合は，志願者であることが確認できるもの（氏名，志望課程・プログラム・専攻等及びインターネット出願時の受付番号又は受験番号）を準備し，入試課へ連絡してください。
◎連絡先　　福岡教育大学入試課　　TEL　０９４０－３５－１２３５

７．出願状況等の情報提供

出願状況等については，次のとおりホームページで情報提供します。

（１）出願状況
令和７年１月３１日（金）～ 令和７年２月５日（水）
※２月１日（土）及び２日（日）は，出願状況の更新は行いません。

（２）追加合格実施状況
令和７年３月２８日（金）～ 令和７年３月３１日（月）
※追加合格に関する詳細は３７ページをご覧ください。

【本学ホームページ】　https://www.fukuoka-edu.ac.jp/

８．競技歴調査書「３．専門種目の競技歴」記入上の注意等

◎作成の際は，以下を参考に記入してください。

Ⅰ．出場大会名	特技種目の競技歴は，高等学校３か年間におけるものの中で，本人が出場し，競技（プレー）した大会の中で，大会レベルの高いものから，順に２つ以内を選び，その正式大会名を記入してください。**本人が大会にはエントリーされていても，実際にプレーしなかった大会は除きます。**
Ⅱ．主催者（団体）	「４．その他」を選んだ場合は，その主催者（団体）の正式名称を（）内に記入してください。
Ⅳ．大会出場方法	「７．その他」を選んだ場合は，その出場方法を詳しく（）内に記入してください。
Ⅴ．出場した大会のレベル	「５．その他」を選んだ場合は，その大会レベルを詳しく（）内に記入してください。
Ⅵ．大会の成績	「Ⅰ．出場大会名」で記入した大会で，本人が出場し，競技（プレー）した試合の大会成績について，該当する成績を選んでください。なお，「６．３回戦以上敗退」とは３回戦以上に進出し，ベスト１６に進出できなかった場合です。また，「８．予選（リーグ）敗退」とは，大会が予選（予選リーグ）と決勝（決勝トーナメント）に分けて行われる場合の予選（予選リーグ）のことです。大会の成績が総合順位で出される競技の場合は「９．その他」に〇を付け，その順位を（　）内に記入してください。
Ⅶ．添付資料番号	添付資料を切り貼りした用紙は，一枚ずつ右上の端に通し番号をつけ，「競技歴調査書」の表面を表紙にして，左上の端を一括して，ホチキスでとじて提出してください。そして，この欄には必ず**右上端に記入した通し番号を記入例のように，記入**してください。

【競技歴調査書の添付資料に関する注意】

・添付資料とは，「専門種目の競技歴」に記入された受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる文書のことを指します。

例１　新聞・雑誌記事（本人の氏名や写真のあるもの）

※上記を利用する場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。提出の際はＡ４用紙に切り貼りし，コピーしたものを作成してください。

例２　大会・試合・競技会記録（本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの。賞状のコピー等も可。）

例３　当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書（任意様式）

・競技会への参加申込書や登録選手一覧及びチームや個人がつけたスコアブックなどの資料は，大会に出場し，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

・**用紙はＡ４サイズとし，両面印刷で３枚以内で作成してください**。

・添付資料は一枚ずつ右上の端に通し番号（１，２，３）をつけ，「競技歴調査書」と一緒に左上の端をホチキスでとじて提出してください。さらに，本人及びチームのことが記載されている箇所に赤色のアンダーライン又は，ピンク若しくは黄色の蛍光ペンで目印をつけてください。

◎　記入例

Ⅰ．出場大会名 (大会開催年月日)	Ⅱ.主催者(団体)	Ⅲ.出場した時の学年	Ⅳ．大会出場方法	Ⅴ．出場した大会のレベル	Ⅵ.大会の成績	Ⅶ.添付資料番号
第●回全国高等学校●●●選抜優勝大会 (令和●年●月●日 ～●月●日)	１．高体連 ２．日体協 ３　　． 協会(競技団体) ４．その他 (　　)	１．１学年 ２．２学年 ③．３学年	1.ブロック大会で出場権を得て出場 ②.県大会で出場権を得て出場 3.地区大会で出場権を得て出場 4．地区大会を経ずに出場 5．選手として選抜され出場 6．チームが推薦され出場 7．その他 (　　)	①．全国大会 ２．ブロック大会 ３．県大会 ４．地区大会 ５．その他 (　　)	1.1位 2.2位 3.3・4位 ④.5～8位 5.9～16位 6.3回戦以上敗退	１～２
第●回国民体育大会 (令和●年●月●日 ～●月●日)	１．高体連 ②．日体協 ３　　． 協会(競技団体) ４．その他 (　　)	１．１学年 ２．２学年 ③．３学年	1.ブロック大会で出場権を得て出場 2.県大会で出場権を得て出場 ③.地区大会で出場権を得て出場 4．地区大会を経ずに出場 5．選手として選抜され出場 6．チームが推薦され出場 7．その他 (　　)	１．全国大会 ２．ブロック大会 ③．県大会 ４．地区大会 ５．その他 (　　)	1.1位 2.2位 3.3・4位 4.5～8位 ⑤.9～16位 6.3回戦以上敗退	３

Ⅶ. 受験に際しての注意事項等

１．受験票について

（１）受験票は，本学ホームページにて試験の１週間前までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので，出願サイトで各自印刷のうえ，試験当日持参してください。

（２）受験者は，試験当日に**本学の受験票と併せて大学入学共通テストの受験票を必ず持参**してください。

（３）試験当日に本学の受験票を忘れて来た場合は，試験当日に本学が設置する試験場第１事務室にて，集合時間までに「仮受験票」の発行手続きをしてください。

（４）試験当日に大学入学共通テストの受験票を持参し忘れた場合は，本学の受験票を持って試験場第１事務室にて，集合時間までに所定の手続きをしてください。

（５）大学入学共通テスト受験票を紛失・汚損した場合は，直ちに「大学入学共通テスト受験案内」に基づいて，大学入試センターに再発行の申請を行ってください。なお，本学の前期日程及び後期日程の受験までに間に合わない場合でも，必ず上記のとおり大学入試センターに申請の上，試験当日に本学の受験票を持って試験場第１事務室にて，集合時間までに所定の手続をしてください。

２．所持品の取扱いについて

（１）受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，次のとおりです。

- 筆記用具（和歌・格言等が印刷されているものは不可）
- プラスチック製の消しゴム
- 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- 時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの，秒針音のするもの，キッチンタイマーや学習タイマー，大型のものは不可。）
- 眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これら以外の所持品を使用又は置いている場合には，解答を一時中断させて，試験終了まで預かることがあります。

（２）試験時間中に，次のものを使用してはいけません。

- 定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)，コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具
- 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

なお，イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請（３９ページ）が必要です。）

３．不正行為について

試験中に不正行為等があった者に対しては，受験を停止し，かつ，すべての試験を無効とします。また，悪質な場合は，警察に被害届を提出する場合があります。詳細は試験の１週間前までを目処に本学ホームページに掲載する「受験上の注意事項」をよく確認してください。

４．その他

（１）本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項等について試験の１週間前までを目処にお知らせいたしますので，必ず確認してください。

（２）当該試験開始時刻から２０分経過後の遅刻者は，受験することができません。

（３）交通事情等を考慮し，余裕をもって試験場に到着するようにしてください。福岡県外からの受験者は特に余裕を持って交通機関等の手配を行ってください。

（４）実技検査及び面接は，１７時までに終了する予定ですが，受験者数又は試験実施上の理由によっては終了しないことがあります。帰りの交通機関等の予約には注意してください。

（５）本学の最寄りのＪＲ教育大前駅には快速列車は停車しません。十分注意し乗車してください。また，必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

Ⅷ．合格者発表

合格者発表は，次のとおり行います。

試験日程	ホームページ掲載日時
一般選抜（前期日程）	**令和７年３月　６日（木）１２時００分**
一般選抜（後期日程）	**令和７年３月２１日（金）１０時００分**

※合格者の発表は，受験番号のみ掲載します。

※ホームページ上での合格発表については，以下のページから確認いただけます。

【本学ホームページ：入試案内】

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/

※ホームページへの掲載は，本学が情報提供として行うものであり，合格者の発表はインターネット出願サイトのマイページにて通知される合格通知書にて必ず確認してください。

◎合格者は，合格者発表後に合格通知書及び入学手続関係書類をインターネット出願サイトより入手してください。郵送による通知はありませんので，注意してください。

不合格者には，特に通知しません。

【注　意】

・合格者発表から入学手続締切までの期間が極めて短いため，できるだけ早めに入学手続をしてください。

・電話等による合否の問い合わせには一切応じられません。

Ⅸ．追加合格・欠員補充第２次募集

１．追加合格

（１）令和７年３月２７日（木）の入学手続締切期日の時点で，募集人員に欠員が生じた場合には，追加合格者により補充することがあります。

（２）追加合格対象者への入学の意思確認については，令和７年３月２８日（金）の９時から１７時の間に電話により行います。したがって，３６ページの「Ⅷ.合格者発表」で不合格（前期・後期とも対象）となった者は，志願票兼出願確認票に記載の「住所」に本人が待機し，連絡がとれるようにしてください。

（３）合格者は，所定の期日までに本学に来学し，入学手続を完了してください。なお，完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。〔手続期間は３月２９日（土）から３月３１日（月）までの間で，受付時間帯は１０時から１７時までです。〕

（４）電話等による合否の問い合わせには応じられません。

（５）追加合格の対象者への連絡が終了次第，ホームページにその旨のお知らせを掲載します。

２．欠員補充第２次募集

追加合格によっても，入学手続完了者が各課程の入学定員に満たず，必要と認める場合には，欠員補充第２次募集を行います。募集を行う課程及びプログラム・専攻等は令和７年３月２９日（土）までに発表しますので，本学のホームページ上で確認してください。

Ⅹ．入学手続

合格者は，所定の期日までに入学手続を完了してください。

なお，手続を完了していない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

※詳細については，合格発表後，インターネット出願サイトより合格者へ通知します。

※本学の受験票は入学手続の際に必要となりますので，紛失しないように注意してください。

１．郵送による入学手続

前期日程と後期日程は，手続期限が異なります。合格者は必ず**自分が合格した試験日程の手続期限までに**入学手続をしてください。**前期日程の合格者が後期日程の手続期間中に入学手続を行うことはできません。**

試 験 日 程	期　限
一般選抜（前期日程）	**令和７年３月１５日（土）必着**
一般選抜（後期日程）	**令和７年３月２７日（木）必着**

※郵送のみでの受付です。

２．窓口での入学手続

後期日程の受験者は，事情により郵送による入学手続ができない場合は，次の日程に限り窓口での入学手続を受け付けます。

なお，**前期日程は窓口での入学手続は受け付けません。**

試 験 日 程	窓口受付日時
一般選抜（**後期日程のみ**）	**令和７年３月２７日（木）午前９時から１２時までの間**

３．留意事項

一つの国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続を行った者は，これを取り消して他の国公立大学・学部の入学手続を行うことはできません。

４．入学料・授業料

（１）入学料・授業料

入学料　　２８２，０００円

授業料　前期分　２６７，９００円

授業料　後期分　２６７，９００円　（年額　５３５，８００円）

①**上記の金額は，変更される場合があります。**なお，在学中に授業料が改定された場合には，改定後の授業料となります。

②特別の事情（学資負担者の死亡，風水害等による被災）又は経済的理由により，納入が著しく困難であると認められるときは，願い出により，入学料・授業料の免除及び徴収猶予を認めることがあります。

【注意】「入学料の免除及び徴収猶予」の願い出は，必ず入学手続期限までに他の手続書類とあわせて提出する必要があります。

※入学料・授業料の納入方法及び入学料・授業料免除等の詳細については，入学手続関係書類にてお知らせします。

（２）その他の経費（納入金）

・学生教育研究災害傷害保険料　・学研災付帯賠償責任保険料　・自治会費

・アルバム費　・後援会費　・同窓会費

※納入方法及び金額等の詳細については，入学手続関係書類にてお知らせします。

Ⅺ．その他共通事項

１．障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する障害のある者等（下記参照）で，受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は，出願の前に，あらかじめ本学へ相談してください。

必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

【本学ホームページ：障害等のある入学志願者の事前相談】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/previous.html

区　　分	受験上及び修学上の配慮の対象となる者
視覚障害	１　点字による教育を受けている者 ２　両眼の矯正視力がおおむね０．３未満の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ３　視力以外の視機能障害が高度の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ４　上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴覚障害	１　両耳の平均聴力レベルが６０デシベル以上の者 ２　上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢体不自由	１　体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ２　両上肢の機能障害が著しい者 ３　上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病　　弱	慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発達障害	学習障害，注意欠陥多動性障害，自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
そ　の　他	上記の区分（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・発達障害）以外で配慮を必要とする者

※配慮の対象となる者は，大学入試センターの受験案内に準じて設定しています。

※日常生活において，ごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を持参して受験する場合も，試験場設定や他の配慮との関係から受験上及び修学上の配慮として申請することが必要となりますので注意してください。

（１）相談の期間

令和７年１月６日（月）　まで

注１．期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合は，できるだけ早く（３）の連絡先に問い合わせてください。

注２．申請が試験直前であったり，申請内容への対応が直ちにできないような場合には，希望する配慮を受けられないことがあります。

（２）相談の方法及び必要書類

下記事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書及び身体障害者手帳を有する者は，その写しを添えて申請（郵送可）してください。

ア．試験日程（前期日程，後期日程の別），志望課程及びプログラム・専攻等

イ．氏名，年齢，住所，電話番号

ウ．障害の種類・程度
エ．受験上及び修学上の配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた者は，その写しを添付してください。）
オ．在籍（出身）学校の名称，及びその学校でとられていた具体的な修学上の配慮事項
カ．日常生活の状況

（３）連絡先・送付先
〒811-4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号
福岡教育大学　入試課　　TEL：0940-35-1235　　E-mail：nyushi@fukuoka-edu.ac.jp

２．ノートパソコンの必携（BYOD)について

福岡教育大学では，「情報機器の操作」（必修授業科目）をはじめとした様々な授業や，レポートの作成，教育実習，卒業研究など，数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。そのため，令和４年度の教育学部新入生より，個人用ノートパソコンを必携（BYOD）としています。本学が推奨するノートパソコンの仕様については，本学ホームページに掲載しています。その他，ノートパソコンの必携に関する詳細については，合格者発表後にお知らせします。

【本学ホームページ：入学準備情報（BYOD）】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/byod.html

３．入学者選抜試験個人成績の開示について

令和７年度一般選抜に係る受験者の個人成績は，本人の申請に基づき次のとおり開示します。

【本学ホームページ：入学者選抜試験個人成績の開示について】
https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/release.html

（１）開示内容
〇試験成績等
次の（ａ）（ｂ）とします。
（ａ）受験者の得点について
（ア）大学入学共通テストの合計得点を開示します。
（イ）個別学力検査等の合計得点を開示します。
（ウ）面接を点数化しない募集単位にあっては，その面接評価を開示します。
（ｂ）不合格者のランクについて
（ア）不合格者の得点をＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階に区分し，合格最低点からの不足分が２０点未満の場合をＡ，２０点以上４０点未満の場合をＢ，４０点以上６０点未満の場合をＣ，６０点以上の場合をＤとします。
（イ）合格最低点は合格者（追加合格者は除外する。）の最低点とします。

（２）開示期間
令和７年５月１日（木）から令和７年６月３０日（月）の間に簡易書留郵便で送付します。
※入試個人情報通知書は，出願時に入試個人情報通知書送付先の欄に入力された住所に郵送します。このため，出願時から開示期間終了までの間に転居等が予想される場合は，帰省先等，確実に通知書が受領できる住所を入力してください。（**高校・予備校の寮等の住所は記載しないでください。**）
※**令和７年６月頃発送の予定**です。６月中に届かない場合は入試課へご連絡ください。
※「宛先不明」等で返送された場合，本学で保管するのは令和８年３月末日までとします。

（３）申込方法

・成績開示を希望する志願者は，インターネット出願登録の際，入試成績の開示請求の項目において「希望する」を必ず選択してください。

・**出願時に成績開示を希望しなかった場合は，出願後に成績開示を希望することはできません。**

・成績開示を希望する場合，開示請求手数料３００円及び通知に係る郵送料４６０円を入学検定料と併せて支払う必要があります。
なお，入学検定料免除者の場合は，開示請求手数料も免除となりますが，通知に係る郵送料が必要となりますので，４６０円分の切手を出願必要書類と一緒に郵送してください。

（４）その他

令和６年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

４．個人情報の利用について

個人情報の保護に関する法律に基づき，本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報につきましては，次の（１），（２）の入学者選抜に関わる業務のほか，（３）から（１０）のとおり利用しますので，予めご了承ください。

（１）国公立大学の一般選抜における合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達します。

（２）入学者選抜に関わる業務の一部を業者に委託します。その場合，入学者選抜で取得した成績等の個人情報を，委託業務の遂行のために限定した範囲で，かつ個人が特定できない形で利用します。

（３）合格者及び追加合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務で利用します。

（４）入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。

（５）入学手続者の住所・氏名等を入学料及び授業料徴収等の納入金管理に関わる業務で利用します。

（６）入学者選抜で取得した成績（「調査書」に記載されている成績を含む。）を，入学年度における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に関わる業務で利用します。

（７）入学者選抜を通じて取得した個人情報の一部又は全部を，個人が特定できない形で，統計処理等の付随する業務及び本学における教育改善のための調査研究で利用します。

（８）（７）で得た統計処理等の結果や調査研究結果の一部又は全部を本学の教育研究活動，広報活動等の業務に利用する場合があります。

（９）（７）及び（８）については，データの電子化，印刷，製本等の業務を業者に委託する場合があります。

(10) 本学の関連団体である同窓会，学生自治会，後援会及び福岡教育大学生活協同組合から，入会者確認等の業務を円滑に行うことを目的とした資料提供を求める申し出があった場合，入学手続者の氏名等，当該利用目的に限定した範囲での資料を提供する場合があります。

※本学が取得した個人情報は，個人情報の保護に関する法律第２７条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

５．試験に関する問い合わせ先

〒811-4192　福岡県宗像市赤間文教町１番１号　福岡教育大学　入試課
TEL：０９４０－３５－１２３５　　FAX：０９４０－３５－１７０３

（参考）過去２年間の一般選抜入学試験状況

〈 前期日程 〉

年度	課程	プログラム・専攻等		募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
令和５年度	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		12		25	24	12	12	2.1
		小学校教育専攻プログラム		46		100	96	47	47	2.2
		人文・社会教育プログラム		60		250	222	65	59	4.2
		理数教育プログラム		45		57	45	45	44	1.3
		芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	57	10名程度	9	6	6	6	1.9
			（美術系科目）		10名程度	5	4	4	4	
			（体育系科目）		20名程度	59 (1)	47 (1)	31	31	
			（家庭系科目）		12名程度	27	22	17	17	
			（技術ものづくり系科目）		5名程度	10	9	6	6	
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	12		23	23	13	12	1.9
			社会科専攻	12		25	24	13	13	2.1
			数学専攻	20		59	56	22	22	3.0
			理科専攻	27		41	41	29	28	1.5
			英語専攻	10		17	16	11	11	1.7
			音楽専攻	10		19	19	13	13	1.9
			美術専攻	5		11	11	6	6	2.2
			保健体育専攻	12		16	16	12	12	1.3
			家庭専攻	7		13	8	7	7	1.9
			技術専攻	5		12	12	5	5	2.4
			書道専攻	7		22	17	7	7	3.1
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		25		55	49	25	24	2.2
		特別支援教育中等教育プログラム		14		25	22	14	12	1.8
	計			386		880 (1)	789 (1)	410	398	―
令和６年度	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		12		15	15	12	11	1.3
		小学校教育専攻プログラム		46		115	111	49	47	2.5
		人文・社会教育プログラム		60		88	74	68	65	1.5
		理数教育プログラム		40		110	97	42	41	2.8
		芸術・実技教育プログラム	（音楽系科目）	57	10名程度	15	9	9	9	4.5
			（美術系科目）		10名程度	11	9	9	8	
			（体育系科目）		20名程度	121	100	24	22	
			（家庭系科目）		12名程度	88	78	20	18	
			（技術ものづくり系科目）		5名程度	21	19	10	10	
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	12		25	25	13	13	2.1
			社会科専攻	12		24	21	13	13	2.0
			数学専攻	20		41	39	21	21	2.1
			理科専攻	27		65	61	29	29	2.4
			英語専攻	10		10	10	10	9	1.0
			音楽専攻	8		8	8	8	8	1.0
			美術専攻	5		3	3	3	3	0.6
			保健体育専攻	12		34	34	12	11	2.8
			家庭専攻	7		17	14	7	7	2.4
			技術専攻	5		8	8	5	5	1.6
			書道専攻	7		15	15	7	7	2.1
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		25		35	26	25	24	1.4
		特別支援教育中等教育プログラム		14		34	30	16	14	2.4
	計			379		903	806	412	395	―

※（ ）は追試験対象者で内数

〈 後期日程 〉

年度	課程	プログラム・専攻等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
令和5年度	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム		15	197	45	17	12	13.1
		人文・社会教育プログラム		45	440	149	52	46	9.8
		理数教育プログラム		5	51	8	7	7	10.2
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	数学専攻	8	82	36	9	9	10.3
			理科専攻	8	50 (2)	13 (2)	10 (2)	9 (2)	6.3
			技術専攻	5	52	16	6	6	10.4
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		10	87	32	13	12	8.7
		特別支援教育中等教育プログラム		6	43	17	8	8	7.2
	計			102	1002 (2)	316 (2)	122 (2)	109 (2)	ー
令和6年度	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム		15	186	54	18	17	12.4
		人文・社会教育プログラム		45	302	63	53	38	6.7
		理数教育プログラム		10	152	53	12	10	15.2
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	数学専攻	8	62	17	9	9	7.8
			理科専攻	8	82	28	9	9	10.3
			技術専攻	5	51	17	5	5	10.2
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		10	79	20	11	9	7.9
		特別支援教育中等教育プログラム		6	44	12	7	7	7.3
	計			107	958	264	124	104	−

※( )は追試験対象者で内数

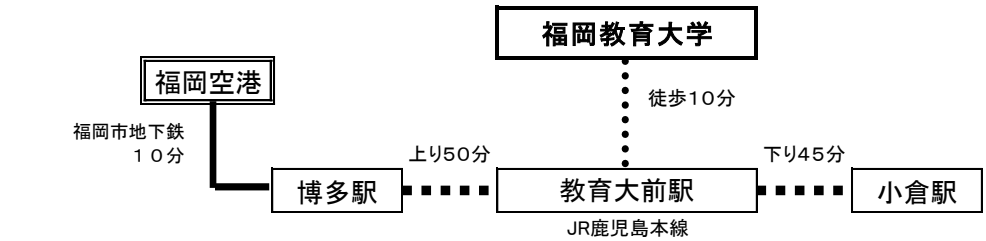
大学所在地

〒８１１－４１９２
福岡県宗像市赤間文教町１番１号

【交通機関】

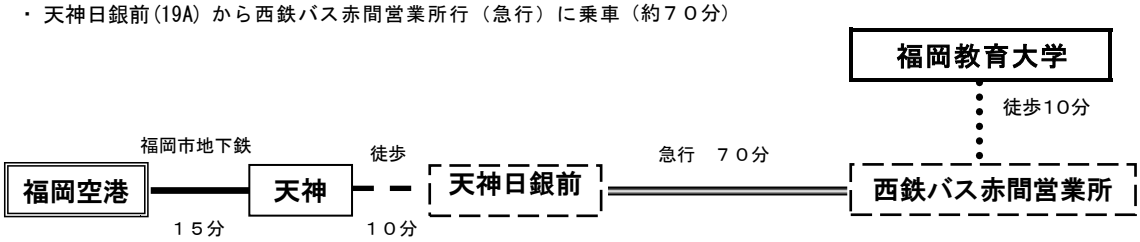
○ＪＲ利用の場合

・ JR鹿児島本線上り博多駅から普通電車に乗車（約５０分）
・ JR鹿児島本線下り小倉駅から普通電車に乗車（約４５分）

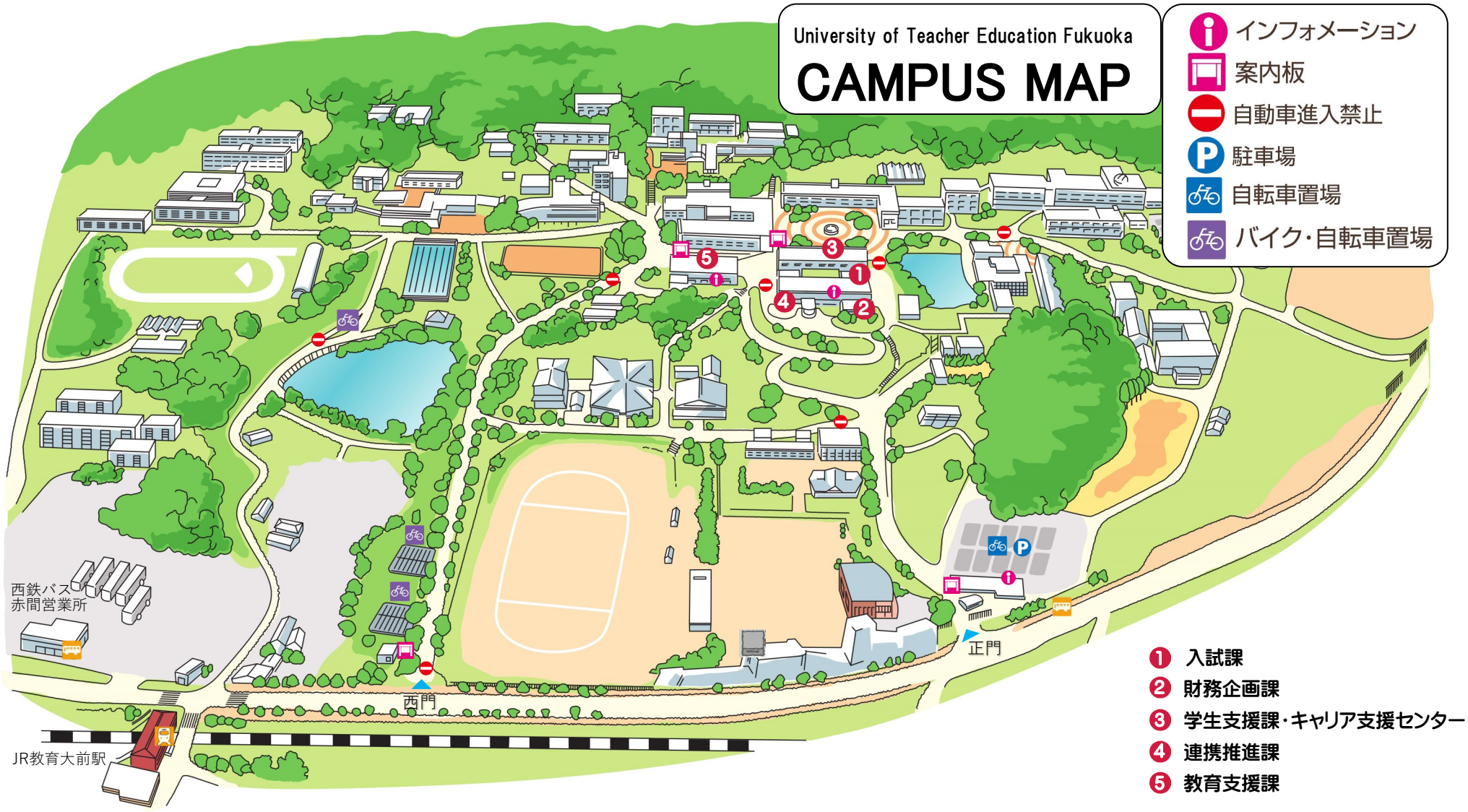


○西鉄バス利用の場合

・ 天神日銀前(19A) から西鉄バス赤間営業所行（急行）に乗車（約７０分）



【周辺道路地図】



福岡教育大学各種お問い合わせ先

●授業，カリキュラム，免許等について・・・・TEL：0940-35-1229（教育支援課）
●教育実習等について・・・・・・・・・・・・・TEL：0940-35-1233（教育支援課）
●学生生活，課外活動，学生寮等について・・・TEL：0940-35-1754（学生支援課）
●奨学金，入学料，授業料減免等について・・・TEL：0940-35-1239（学生支援課）
●留学・国際交流について・・・・・・・・・・TEL：0940-35-1247（連携推進課）
●就職支援（教職関係）について・・・・・・・TEL：0940-35-1249（キャリア支援センター）
●就職支援（企業，公務員関係）等について・・TEL：0940-35-1241（キャリア支援センター）
●授業料等の納入関係について・・・・・・・・TEL：0940-35-1222（財務企画課）
●入試全般・・・・・・・・・・・・・・・・・・TEL：0940-35-1235（入試課）